



生産本部印刷製造部
印刷チーム印刷1グループ主任
庄司 陽一氏
「高精度なカメラで見当や品質を管理できるため、効率よく回せています」



生産本部印刷製造部
印刷チーム課長
伊藤 真一氏
「両面機のリスロンGX40RPはくわえ替えがなく、ストレスなく稼働できます」



常務取締役生産本部長
佐々木 弘知氏
「KOMORI機を選ぶ最大の理由はアフターサービスの充実です。KOMORIと共に予防保全もしています」

でした。4色刷って裏返して、また4色を刷るのは非効率ですし、片面を刷り波打った紙を印刷するのは難しい。くわえ替えのないリスロンGX40RPなら、1度の紙積みで、ワンパスで完了するので効率的で、紙のくせも問題になりません。さらにH・UVの速乾によって短納期対応できるのも最大の武器です」

さらに佐々木常務は、リスロンGX40RPを「短距離ランナー」に例える。「弊社の印刷機には、マランランナーのような持久力はいりませ

導入によって、現場の仕事の流れは、どのように変化したのだろうか。佐々木常務は、今は検証段階としつつも、「これまではリスロンGX40RPで多くの仕事を刷っており、大きなロスが生じることもありました。リスロンGX40RPが入ったことで、仕事による反転機との使い分けができるようになり、効率が上がりました。さらに、リスロンGX40RPはくわえ替えがないので、四六半裁の仕事でも、片面刷った後にひっくり返して積む作業が不要になります。これだけでもかなりの作業量がカットされます」と、効率化へ大きな期待を寄せている。また、

作業カット・コストダウンを現場にもたらした

ん。100メートルを速く何本も走れることが必要。それを追求していくと、リスロンGX40RPにたどり着きます」と、短納期への高い対応力を評価する。

インキの「KG-91」をはじめとしたK-サプライについても「KOMORIの印刷機に合わせて開発されたもので、当たり前と言えは当たり前ですが、立ち上がりが早かった。K-サプライは全て使っていて、KOMORIに使用感をフィードバックしています。また、立ち上げを担当する技術者、サービスマンのおかげで10日間くらいで完了し、その後すぐに本稼働できました」

同社は現在、中期3カ年計画を進めている。キャッチフレーズは「挑戦するDNA」だ。「人の手を介さずに作業を効率化するKOMORIの「オートパイロット」には最初は否定的でした。しかし今は、オートパイロットのような技術を取り入れ、ノウハウを蓄積し、若い人に伝授していく必要があると考えています」と佐々木常務。

今野社長も「オートパイロットやK-サプライなどは、KOMORIが総力を挙げた集大成だと認識しています。効率化による時間短縮を一人一人のスキルアップへ、そして挑戦へとつなげていきます。オフセット印刷機メーカーとして技術を磨いてきたKOMORIからのインキやサプライの提案は、参考になることも多く、期待しています」と、「挑戦」を強く意識する。新工場の設立、印刷機の導入は、新たな挑戦の始まりなのだ。

効率化で削減した時間をスキルアップ、挑戦へつなげる

コスト削減においても「工場長に就任した時、東北で一番ケチな工場長になろうと決めていました。すでに、設備資材などのコストカットをやり尽くし、あとは紙が占めるコストの割合を軽減することが課題でした。リスロンGX40RPはくわえ替えがなく、菊全の仕事がA全の用紙で刷れて、四六半裁も両面一度に刷れるので、かなりのコストダウンにつながります」



印刷の品質向上と作業効率化を実現するため、空調から照明、床と壁の色にまでこだわった新工場。リスロンGX40RPもこだわりの一つ。「K-サプライのインキ、エッチ液、ブランケットはどれも使いやすい。特にインキは高濃度で発色がよく、マイルージも伸びています」と伊藤課長。

「新工場の設立は、事業の柱として印刷を継続していくという意思の表れです」と、強い眼差しを向ける(株)ユーメディアの今野社長。同社は、社名を今野平版印刷からユーメディアに変えた1992年ころから、印刷会社という枠組みを超えた、コミュニケーションを支援する会社へとかじを取った。「60年にわたって印刷の受託製造を事業の柱としてきました。今後は、お客様の課題を解決する事業と、地域の

新工場の設立は印刷への強い意思表示



代表取締役社長
今野 均氏

「リスロンGX40RPは、多能工化に沿う機械。フル活用して、多くのことに挑戦していきます」

活性化を促す主体的な事業の両輪を、バランスよく回して力強く進んでいくと考えています。多様化するお客様の課題を解決するためには、ウェブやイベント、映像などのメディアも駆使しつつ、核となる印刷を見直す時期にきていました。そこで、新たな価値を提供できる新しい工場の設立を決断しました」

今回その新工場を象徴するものとして、H・UV搭載リスロンGX40RP(菊全判両面8色オフセット枚葉印刷機)を導入した。「リスロンGX40RPは、社員のモチベーシヨ

ンアップに加え、両輪展開を行っていくための投資と考えています」

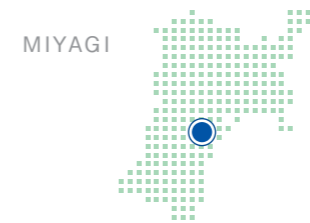
リスロンGX40RP導入による大きな効果

同社では、リスロンG40P(菊全8色反転機)1台、菊全2色x2色機1台が稼働しているが、生産現場を指揮する佐々木常務は、新たにリスロンGX40RPの追加導入で、効率化・コスト削減を期待している。

「反転機を使っていますが、くわえ替えのために紙尻のくわえ代が課題

お客様と地域住民を結ぶコミュニケーションサポート事業と、地域の元気の源となるメディアコンテンツを企画・運営するメディアプロモーション事業を展開する株式会社ユーメディアは、2018年10月に仙台印刷工業団地に新工場を正式オープンした。「ただの移設ではなく、新たな生産拠点の確立」と語るその真意とともに、H・UV搭載リスロンGX40RP(菊全判両面8色オフセット枚葉印刷機)を増設した背景と効果、さらにK-サプライ製品の活用の利点について、今野均社長と佐々木弘知常務、伊藤真一課長、庄司陽一主任にお聞きした。

株式会社ユーメディア 新工場のH・UV搭載リスロンGX40RPと K-サプライが「挑戦」の原動力になる。



営業センター / 宮城県仙台市若林区土樋103
印刷センター / 宮城県仙台市若林区六丁の目西町4-12
https://www.u-media.jp/
TEL / 022-288-6015



印刷センター